

■ 表 ■ 裏

裁断した全てのパーツの端をほつれ止めをしてください。
くわしくは縫う前の下準備を参照
飾りポケットを縫ってください。
縫い代分ずらし、両脇を縫ってください。
表側に返し、アイロンで形を整えてください

ダーツ(立体にする為のつまみ)のあるデザインの場合はダーツを縫って下さい。

ダーツのVの字の線同士が会うように折り、印の上を縫ってください。

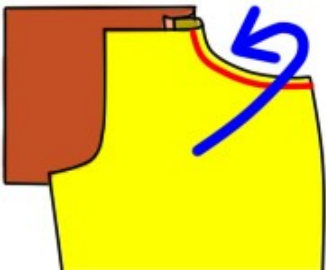
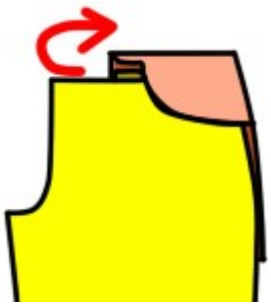
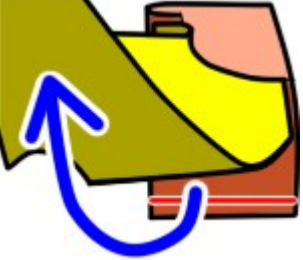
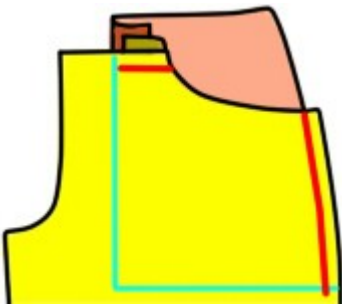
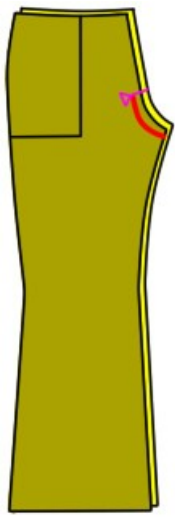
後の飾りポケットをつけてください。縫い代の方が上を向くように重ね、縫ってください。

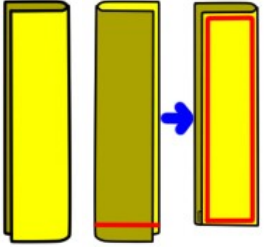
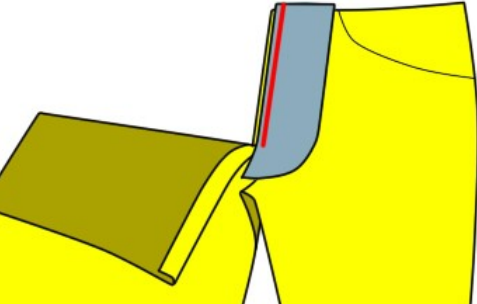

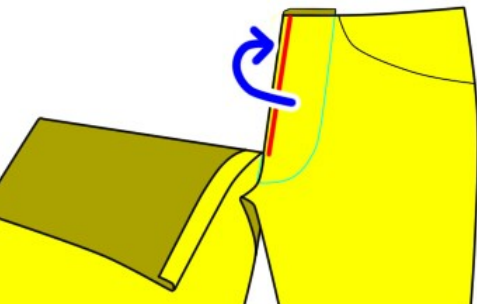
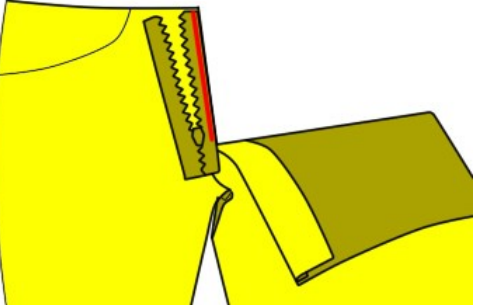
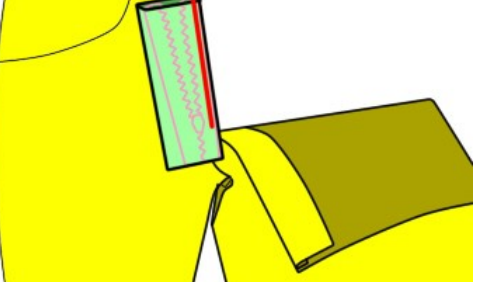
飾りポケットを上を折り上げ両端を縫ってください。

表を上にした前身頃の上に裏を上にしたポケットを重ね縫ってください。

カーブの部分そのまま折ると、外側と出来上がり線の長さが異なるため、引きつるので縫い代に切込みを入れてください。

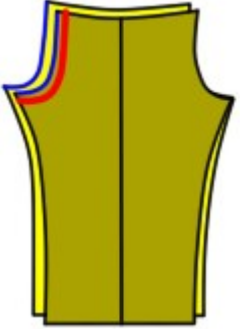
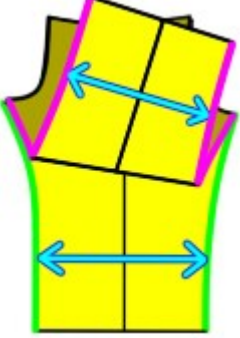
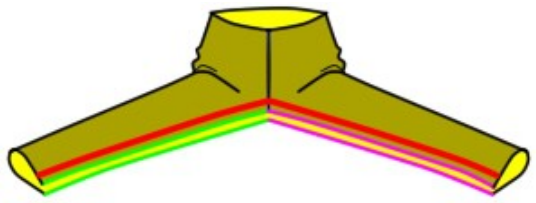

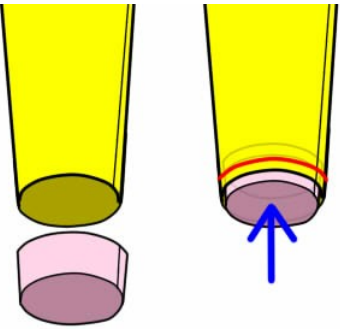
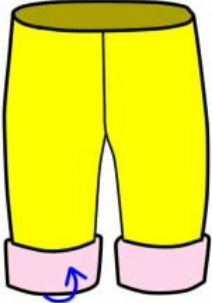
縫い目を切らないように0.8 cm位のところまで切り込む。

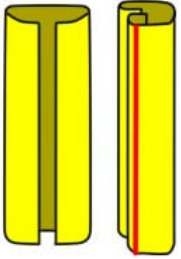

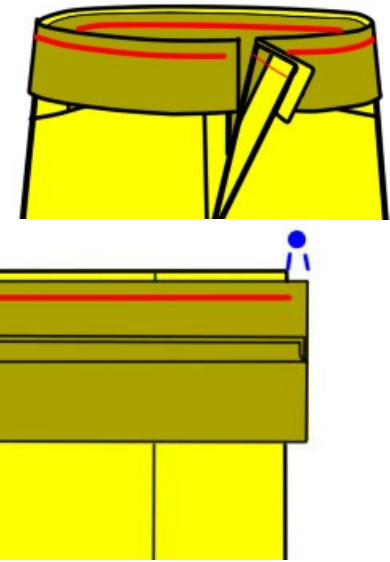

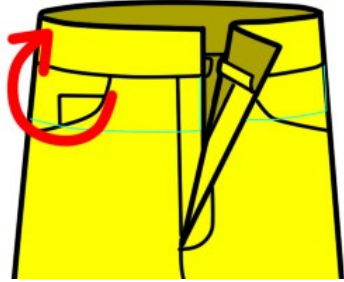
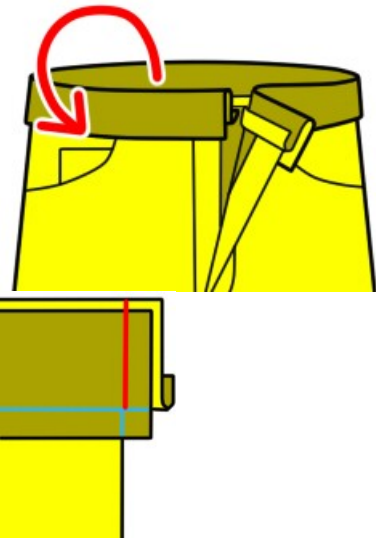
	<p>ポケットを裏に回し、ポケット口の端から0.2～0.5cmの所を縫ってください。</p> <p>お好みでジーンズのように2本縫ってもいいですね。</p>
	<p>ポケットを脇のほうへ半分に折り返してください。</p>
	<p>本体をよけて、ポケットの底だけ縫ってください。</p>
	<p>ポケットの上と脇を端から0.5cmの所を縫ってください。</p>
	<p>ファスナーが付く部分を避けて股の上を縫って下さい。</p> <p>ファスナーはファスナーを付ける位置の長さより長いものを使って下さい。</p> <p>長いファスナーは切って短く出来ますよ。</p>

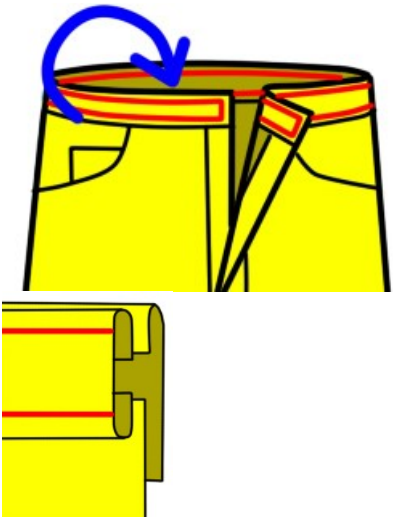
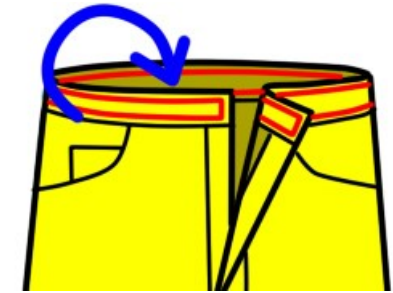
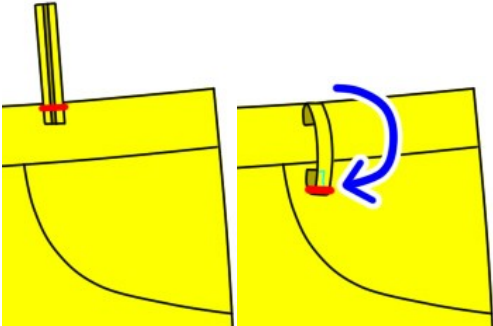

	<p>アイロンで半分に折ってください。 折り目は逆に折り返して下を縫ってください。 (縫い代が無い型紙の場合は無視する) 表返し、はしから 0.2~0.5cm の所を縫ってください。</p>
	 <p>ズボンの前中心に見返しを裏を上にして重ねる。(中表) 端から 0.8cm の所を縫ってください。</p>
	<p>見返しを裏に折り返えしてください。 端から 0.2cm の所を縫ってください。 人間と違い激しく動いたりしないので、持ち出しと見返しだけ付けて、ファスナーを付けなくてもパカッとあいたりしません。 気になるなら薄いスナップボタンでもOK</p>
	<p>反対側の中心にファスナーを裏を上にして重ねてください。 ファスナーの端を、前中心の端より 0.2cm 位離しておくとし縫いやすい。 (前中心ピッタリにファスナーを合わせるとミシンによっては、押さえ金の幅が広くて縫いにくいのでちょっとずらしておくとし縫いやすくなる。 端から 0.5cm 位のところを縫ってください。</p>
	<p>持ち出しを重ねてください。 折り山ではない方を端に合わせてください。 端から 0.8cm 位のところを縫ってください。</p>

	<p>縫い代を裏へ折ってください。</p> <p>端から0.2cmの所を縫ってください。</p> <p>この時ファスナーあきの一番下の所は拡大図のように重なります。</p> <p>この重なりのおかげでファスナーが隙間から見えるのを防ぎます。</p>
	<p>出来上がり通りに前を重ねてください。</p> <p>ずれないようにピンでとめてください。</p>
	<p>ここからは裏からの作業になります。</p> <p>生地を裏返してください。</p> <p>持ち出しをよけてください。</p>
	<p>引きつったりゆるんだりしない自然な状態で、見返しと、ファスナーだけをピンでとめる。</p>
	<p>ファスナーと持ち出しを縫う</p> <p>このときも持ち出しをさけて縫う。</p> <p>縫っていく途中、ファスナーの金具が邪魔になることもあるとおもいますので、その際は金具を動かして縫う。</p>

	 <p>表に戻してください。 ぴらぴら浮いたままの持ち出しを押さえる為に、表から縫って固定する。 この場合も、絶対下の持ち出しを縫わないように避けて縫って下さい。 水などで消えるチャコペンなどで、あらかじめ縫う位置に線を引いておくと綺麗に縫える。</p>
	<p>持ち出しを固定する よけていた部分を元に戻す。</p> <p>前身頃と、持ち出しと見返しを重ねて縫う。 返し縫を4~5回してとめても良いですが、ジグザグ縫いにして、縫い目の幅を小、縫い目の長さを0.2~0.4くらいにして細かくジグザグ縫いで縫うと、市販のズボンのようなとめが出来ます。</p>
	<p>前身頃と後身頃を表が内側になるように重ねてください。 脇を縫って下さい。 脇、股下の縫い方ははこの動画を参考にしてください</p>
	<p>一旦ズボンを広げてください。 脇の縫い代を後ろ身頃の方へ倒して、後身頃側に縫い代を固定するために縫い目から0.2~0.5cmの所を縫ってください。 2本縫ってもよい</p>
	<p>すその縫い代をアイロンで折って縫ってください。 ドールは小さいのでここで裾をあげておくと縫いやすいです。</p>

	<p>上の図の後身頃の股の上(青い部分)同士を表同士が内側になるように重ねてください。</p> <p>後の股の上を縫ってください。</p>
	<p>繋がった股の下同士を合わせてください。</p>
	<p>上の図のピンクの線同士と黄緑の線同士を表同士が内側になるように重ねてください。</p> <p>股の下を縫ってください。</p>
	<p>裾の見返しの上の縫い代を折り縫ってください。</p> <p>内側が表になるように折って縫ってください。</p>
	<p>ズボンを表に戻してください。</p> <p>表にしたズボンのすその中に表が見える状態で、すそ見返しを入れて縫ってください。</p> <p>すそ見返しの脇縫い目の位置をズボンの内股の縫い目に合わせる</p>
	<p>すそ見返しを表に出してください。</p> <p>すその脇にスナップか飾りボタンを付けてズボンの脇に固定してください</p>

	<p>ベルト通しの縫い代をアイロンで両端を裏側に折ってください。</p> <p>さらに半分に折ってください。</p> <p>両端 2~3 mmの所を縫ってください。</p>
	<p>ベルト 2 枚を表同士が内側になるように重ねて、上を縫ってください。</p>
	 <p>上で縫ったベルトを広げてください。</p> <p>表になるほうの下だけをズボン本体に重ねてください。</p> <p>ベルトは持ち出しがあるほうが、持ち出し分長いので左右に注意。</p> <p>ベルトの端は縫い代を出して縫ってください。</p>
	<p>縫い合わせのところからベルトを起こします。</p>
	<p>ベルトは裏がえった状態のまま、持ち出しの延長線上を縫います(拡大図参照)</p> <p>裏側のベルトは下の縫い代はまっすぐのまま構いません。</p> <p>縫い代を折りあげると厚みで家庭用ミシンでは縫えなくなる場合があるので。</p>

	<p>ベルトを表返し、身頃の縫い代をベルトの中に入れ、端から2～5 mmの所を表から縫ってください。</p> <p>縫いにくい場合は先にしつけ糸でミシンで縫う所より2 mm離れた所を縫っておくとミシンで縫いやすくなる。 (ミシンで縫うところを縫うと後で抜きにくくなるので、少しはなれたところを縫ってね)</p> <p>後でほどくのでしつけ糸は粗い縫い目で良い。</p>
	<p>ベルトを表返し、身頃の縫い代をベルトの中に入れる。端から2～5 mmの所を表から縫ってください。</p> <p>縫いにくい場合は先にしつけ糸でミシンで縫う所より2 mm離れた所を縫っておくとミシンで縫いやすくなる。 (ミシンで縫うところを縫うと後で抜きにくくなるので、少しはなれたところを縫ってね)</p> <p>後でほどくのでしつけ糸は粗い縫い目で良い。</p>
	<p>ベルト通しはお好みで数を変えておつけください。</p>
	<p>スナップボタンを付ける。</p> <p>もしくはボタンホールをあけてボタンをつけて下さい</p>

必要な材料

表生地、薄いスナップボタン、糸、お好みでファスナー

このデザインにオススメの生地

薄手の綿生地、デニムもオンスの数の小さいものほど薄くなるので、ドール用のジーンズ生地をネットで買うときは参考にしてください。